

県立高等学校の特色ある学校づくりの取組や全日制課程普通科通学区域の全県一学区等についての情報をお届けします。

2：【高校の特色ある取組】と3：【学校紹介スペシャル】4：【コラム】は各高等学校から寄せられた原稿を掲載しています。

なお、県立高等学校についての情報及び全県一学区についての情報は以下のホームページを御覧ください。

県立学校「公立高校ホームページ」

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/school/koukou.htm>

全県一学区に向けての取組

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/ichigakku/ichigakku.htm>

■ もくじ ■

1：【全県一学区に向けての取組】

公立高校合同相談会

2：【高校の特色ある取組】

(1) 鹿島台商業高等学校

＜培おう起業家マインド！！＞

(2) 女川高等学校

＜生徒の自立を支援する四類型選択制の導入＞

(3) 角田高等学校

＜パワーアップし続ける姉妹校との交流事業＞

(4) 気仙沼西高等学校

＜気仙沼西高のユニークな行事＞

(5) 古川工業高等学校（全日制課程）

＜地域産業の担い手育成プロジェクト事業＞

(6) 柴田農林高等学校

＜農業の実践的授業を展開。10月31日には柴農祭を開催＞

(7) 登米高等学校

＜文武両道＞

3：【学校紹介スペシャル】

佐沼高等学校

校是「文武両道」のもと、一人ひとりの目標に向かって

柴田高等学校

一緒に柴田高校で「夢実現」を目指しましょう。「来たれ！柴高へ」

利府高等学校

学習・部活動等に努力を惜しまない生徒を応援する学校＝利府高校

河南高等学校

河南高校は、平成22年4月より「石巻北高等学校・総合学科」になります

白石高等学校

進学重視型単位制普通科と5年一貫教育看護科が併設された学校が、新校舎とともに来春スタート！

田尻さくら高等学校

居心地No.1高校 ここではあなたは飛躍できる

4：【コラム】

仙台向山高等学校

新旧生徒会長が仙台向山高校を紹介します

5：【お知らせ】

公立高校ガイド（入試情報）について

公立高校ガイドブックについて

オープンキャンパス（学校説明会）について

6：【編集後記】

■ 1 全県一学区に向けての取組 ■

□ 公立高校合同相談会の開催

「公立高校合同相談会」を6会場で開催しています（石巻会場、大崎会場、仙台会場、気仙沼会場、登米会場は終了しました）。終了した5会場での合同相談会には多くの中学生、保護者の皆さまにおいでいただきました。ありがとうございます。皆さんの高校選びに役立ったでしょうか。今後の実施予定は白石会場です。中学生と保護者の皆様、ぜひご参加ください。

①「学校別相談コーナー」

… 各高校のブースで個別相談

②「学校別説明会」

… タイムテーブルに従った各高校の学校紹介（約15分）

◇白石会場 … 9月12日（土）10：00～16：00

白石市文化体育活動センター（ホワイトキューブ）

①：「学校別相談コーナー」参加予定校数36校

②：「学校別説明会」参加予定校数33校

③：「資料」参加予定校数46校

高校別の相談コーナーで個別に高校の紹介や進路相談が受けられます。また、高校ごとに教員による学校紹介（一斉説明会）があります。

なお、会場の駐車場には限りがあります。詳細については、高校教育課のホームページをご覧ください。

《方法》 「宮城県教育庁高校教育課」 検索

↓

「宮城県／教育庁高校教育課」をクリック

↓

「平成21年度公立高校合同相談会実施要項」をクリック

■ 2 高校の特色ある取組 ■

宮城県の高等学校の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

□ 鹿島台商業高等学校 ＜培おう起業家マインド！！＞

本校は、創立60周年をむかえる大崎地域で唯一の商業高校です。「起業家教育」「情報処理教育」「資格取得」を柱にビジネス教育に取り組んでおり、平成19年度から県教委「個性かがやく高校づくり」の研究指定を受け、起業家教育の推進校として情報発信に力を入れています。その特色として、

- ①大学、行政、民間企業と連携し「大崎起業家マインド育成協議会」を発足。
- ②外部講師による「起業家マインド育成プログラム」「職業について学ぶ」「ビジネスマナー講座」などの授業づくりを工夫しています。
- ③宮城大学の学生チューターがグループワークに参加しています。
- ④大崎に関するミッションにそくした課題解決学習に取り組み、その成果を「学習成果発表会」で、発表しています。

それ以外に、地域貢献を目指して「鹿島台生活互市」「大崎誕生祭」などのイベントでチャレンジショップを出店したり、JR 駅長小さな旅“鹿島台互市ツアー”では地域ボランティアとして、おもてなし活動を行っています。一日体験入学は10月17日（土）に実施します。

お問い合わせ 0229-56-2664（担当：教務部）

〈くわしくはこちら〉 <http://www.kasimadai-ch.myswan.ne.jp>

□ 女川高等学校 ＜生徒の自立を支援する四類型選択制の導入＞

本校は、2年次より四類型選択制を導入し、生徒の多様な進路希望に応じた教育課程を編成して自立を支援しています。以下は各類型とそのねらいです。

- ①[進学類型] 進学対応のカリキュラムを編成し、上級学校への進学を目指しています。石巻専修大学との協定締結の結果、地域指定校推薦枠が拡大しています。
- ②[就職類型] 就職を希望する生徒の学力や一般常識を高めることを目指しています。地元及び県内の企業への就職を前提に考えています。
- ③[ITマルチメディア類型] 情報に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得と、資格取得を目指しています。
- ④[スポーツ・福祉類型] スポーツや福祉の基礎的な知識や技能の習得を目指しています。女川町のスポーツ・福祉施設と人的支援を活用した授業を展開しています。

他にも、生徒の自立を支援する教育活動を、「地域と連携」して展開し、「特色ある学校づくり」・「開かれた学校づくり」を推進しています。

→〈くわしくはこちら〉 ホームページ <http://onagaw-h.myswan.ne.jp/>

学校だより第10号 http://onagaw-h.myswan.ne.jp/h21/hakua_10.pdf

□ 角田高等学校 ＜パワーアップし続ける姉妹校との交流事業＞

本校は、平成17年8月にアメリカのデラウェア州にあるドーバー高校と姉妹校締結を行いました。毎年3月に角田高校の生徒がドーバー高校を訪問し、6～7月にドーバー高校の生徒が本校に来校します。

平成21年3月の研修には、6名の角高生が参加しました。全日程は12日間ですが、その中にはワシントンD.C.とニューヨークの市内見学も含まれますが、メインはドーバー高校生の家庭への7泊8日のホームステイです。ドーバー滞在中は、ホストステュUDENTと一緒に学校へ通って交流を深めます。また今回の研修では、角高の生徒がドーバー高校で授業をするという新しい試みも行ってきました。授業の内容は、角田高校や日本文化の紹介で、5パターンの授業を計15クラスで行ってきました。多くのクラスを訪れることで、たくさんのドーバー高校生と交流ができ、昨年までより一歩進んだ交流ができたと思います。

7月には2名のドーバー高校生を角高に迎えました。彼女たちも角田滞在中はホームステイをしながら、ホストステュUDENTと一緒に授業や部活動に参加しました。もちろん彼女たちも角田高校で授業を行い、ドーバー高校やアメリカについての紹介をするとともに、多くの角高生と交流を図りました。

角田高校とドーバー高校の交流はこれからも続きます。来年の3月の研修で、通算41名の生徒がドーバーに行くこととなります。今後も少しでも多くの生徒が研修に参加し、これをステップに未来の世界に貢献できる人材が1人でも多く出ることを期待せずにはられません。

→ (くわしくはこちら) <http://www.kakuko.myswan.ne.jp/>

□ 気仙沼西高等学校

| <気仙沼西高のユニークな行事>

本校は気仙沼市街地西方・松岩地区牧沢の緑豊かな丘陵地に建つ創立25年目の全日制普通科高校です。校舎からは市街地はもちろん、東に太平洋を望み、目を転ずると徳仙丈山や熊山などの秀麗な山々が見渡せます。生徒達はこのような恵まれた自然環境の中、1学年3クラスという小規模校ゆえのアットホームな雰囲気、楽しく落ち着いた学校生活を送っています。普通科ですが、2年生からは福祉類型、情報類型、進学類型の3つに分かれ、それぞれの進路目標に向かって学習に取り組んでいます。そんな中、西高ならではのユニークな行事をいくつか紹介します。

■ 応援練習

新入生は入学直後から約1週間の応援練習をおこないます。指導するのは生徒会の応援委員を中心とした先輩達です。放課後中庭や教室で厳しい練習が続きますが、これを終了すると誰でも校歌を大きな声で歌うことができるようになります。西高生として最初の関門ともいえる行事です。5月の地区総体ではこの練習の成果が十分に発揮されます。

■ 理科巡検

創立当時から継続している行事です。総合学習の一環として地域の自然環境を実際に現地に行って観察します。主に植物や地質の学習をおこないますが、地域にある豊かな自然環境を再認識することができます。1年生と2年生でそれぞれ1日ずつ実施します。2年間の巡検で、北は大船渡から南は南三陸町まで、リアス式海岸の主だったところを訪れることができます。各地の博物館の協力を得て、効率的な学習をおこなえるように計画しています。

■ スポーツ大会

西高のスポーツ大会は気仙沼市の体育館(ケーウエーブ)を会場として2日間にわたっておこなわれます。バスケット、ドッチボール、バレー、長縄跳び、サッカーなどで熱戦が繰り広げられます。競技だけではなく、高校生らしい応援スタイルも楽しみの一つです。ただし、最近はおくまで運動に適したユニフォームが推奨さ

れています。

■ふれあいパソコン教室

情報科学部の生徒が中心になり、地域の高齢者対象に初心者向けパソコン教室を夏休みに実施しています。県民大学の学校開放講座の一つとして実施していますが、本校では生徒が指導者として取り組むことが特徴です。単に技術の習得だけではなく、西高生の元気を感じてもらいながら、同時に経験豊かな方々のお話をうかがって、地域とともに歩む西高を実践している行事です。

■福祉施設との交流

学校周辺には福祉施設が多くあるので、いろいろな機会をとらえて交流を深めています。福祉類型では、授業で福祉施設を訪問したり、逆に学校へ来ていただき交流しています。また、ボランティア活動も盛んで、多くの生徒が様々な活動に参加しています。社会福祉部では地域の清掃活動、交通安全運動、施設の運動会やお祭り行事補助、児童館訪問、募金活動等、積極的に活動しています。秋の文化祭では福祉施設からの参加もあります。

■西高祭・クラス対抗歌合戦

文化祭の目玉の一つが歌合戦です。西高では合唱だけでなく踊りを加えた全体のパフォーマンスの完成度でクラス対抗合唱を実施しています。その仕上がりのすばらしさに、保護者にも人気のある行事です。文化祭全体としては、地域の自治会などからの参加もあり、一般の方々にも楽しめると好評です。

■西高ウォッチング

西高を中学生に紹介する行事です。一般的な説明のあとにおこなわれる生徒会中心のガイダンスが好評です。少人数にわかれての校内見学、部活動見学、そして先輩との座談会等、不安や疑問をかかえた中学生の皆さんに親身に対応します。西高を志望校の一つとして考えている中学生の皆さんにはぜひ参加してほしい行事です。保護者の参加もでき、保護者向け説明もあります。

■スペースウォッチング

校舎屋上のドームには直径31cmの反射望遠鏡が設置されています。地域で最大の望遠鏡を活用して、理科の授業として天体観察をおこなっています。特に冬季は光害の少ない地域だけに見事な星空が観察されます。有名な星座や望遠鏡で見る惑星の生の姿には感動します。さらに、日中にはフィルターをつけて太陽表面の観察をおこない、大きなプロミネンスを観察することもあります。

→ <くわしくはこちら> <http://knisi-h.myswan.ne.jp/>

□ 古川工業高等学校（全日制課程）学校

| <地域産業の担い手育成プロジェクト事業>

次代を担う専門的職業人の育成と確保を目的とし、文部科学省と国土交通省の連携事業として行われるこのプロジェクトに、本校の土木情報科が今年度より2年間の指定を受け取り組むことになりました。

この事業は「新クラフトマン21」と称し、平成19年度より実施されているクラフトマン21をもとに、今回は建設分野を対象として県内では本校と白石工業高校建築科の2校が指定を受け実践していきます。

本校で計画している主なプロジェクト内容は、短期インターンシップ（3日間）、長期インターンシップ（10日間程度）、現場見学会、教員技術研修、資格取得支援などを計画しています。現場見学会では、昨年発生した岩手宮城内陸地震の災害復旧現場を見学する予定です。

このプロジェクトを通し、建設業への興味関心を深め、将来の地域産業を担う人材の育成を目指し学科を挙げて取り組んでいきたいと思えます。

→ <くわしくはこちら> <http://www.furukk-h.myswan.ne.jp/>

□ 柴田農林高等学校

| <農業の実践的授業を展開。10月31日には柴農祭を開催>

柴田農林高校は、大河原町にある農業高校です。食農科学科、動物科学科、森林環境科、園芸工学科の4学科があります。毎年、食農科学科で行っている春の野菜苗販売は、伝統的に地域の方々に好評です。最近、動物科学科では、ニワトリの解体から調理・試食までを行い、命の大切さを学びました。森林環境科では、国営みちのく杜の湖畔公園で行われた「花普請 IN みちのく」に参加し、庭園をデザイン・施工し、多くの方々にご覧いただきました。園芸工学科が製造したトマト・ジャムは、新聞にも取り上げられました。

ここで紹介したほかにも柴田農林高校の各学科では、農業に関する様々なことを学んでいます。これらの学習内容の紹介や文化部等の作品展示、生徒達が育てた農産物の販売を行う柴農祭を10月31日（土）に行います。是非お越し下さい。なお、一般公開は10時から14時の予定です。農産物は無くなり次第終了になります。

□ 登米高等学校

| <文武両道>

登米高校は普通科と商業科が併設された勉強に部活動に生徒が熱心に打ち込める活気ある学校です。

◎普通科

1年生で各教科をバランスよく学習した後、2年生では進路希望、適性、興味、関心などに応じて、2つのコース（文系・理系）に分かれます。2つのコースそれぞれの特色を生かした授業を選択することができ、自分にあった学習ができます。3年生になるとさらに文系コースはAコースとBコースに分かれて勉強します。

☆3つのコース

文系Aコース：5教科をバランスよく学習します。一般就職、公務員、文系の専門学校、各種学校希望者向けです。

文系Bコース：英語、国語、社会を多く学習します。文系（文学、法、経済、社会、福祉など）の大学進学希望者向けです。

理系Cコース：数学、理科を多く学習します。理系（医、歯、薬、理、工、農など）の大学進学、理系の専門・各種学校、高等看護学校希望者向けです。

○学習合宿、課外講習、マンツーマン方式の指導等を実施し、基礎学力の向上と希望の進路に対応できる学力の養成を目指します。

◎商業科

商業科はもちろん簿記やパソコン操作などの商業に関する基礎知識を学びます。

1年生では普通科目・商業科目を共通に学習し、2年生からは会計類型と情報類型に分かれて学習します。会計や情報のより一層の専門知識を身につけるため大学の進学を目指し、また、一般企業・官公庁・自営など様々な分野への就職を目指します。

☆会計類型：簿記・会計に関する科目をより深く学習します。会計、原価計算、会計実務など。

☆情報類型：情報処理に関する科目をより深く勉強します。文書デザイン、プログラミングなど

- 取得可能な検定資格：簿記検定・情報処理検定・ワープロ検定・電卓検定など
- インターンシップの実施（3年次）：登米市内の企業や商店で職業実習を体験します。実際に社会に出て、仕事に従事することで将来の職業観・勤労観や倫理観を養います。

〈くわしくはこちら〉 <http://www.tome-h.myswan.ne.jp/>

■ 3 学校紹介スペシャル ■

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するスペシャルコーナーです。

□ 佐沼高等学校

├ <校是「文武両道」のもと、一人ひとりの目標に向かって>

佐沼高校は、「文武両道」の校是のもと、一人ひとりの生徒がそれぞれの目標に向かってひたむきに学習や部活動等に励んでいます。昨年度の国公立大学合格者は64名。インターハイや全国総合文化祭に数多くの生徒が出場しました。

文武両道の取組① 学習面

佐沼高校では、昨年度から、毎日45分×7時間の授業を行っています。どんな進路を希望するとしても重要になる英語・数学・国語の各教科には特に力を入れています。この3教科では、授業時間数を通常より増やしているだけでなく、少人数や習熟度別編成による授業も行っており、密度の濃い学習ができます。

また、授業に加えて、学習を深めていくための課外講習などもあります。全学年対象で、年間を通じて月に2回程度行われている「土曜課外」。夏、冬の長期休業中の課外、3年生の県総体終了後から行われる毎日2コマの「放課後課外」。その他にも、仙台や東京から予備校の講師を佐沼高校に招いて行われる「課外」や、他の高校と合同で校外で行う「学習合宿」など、学ぶ機会はたくさんあります。

文武両道の取組② 部活動

今年は陸上競技（棒高跳）及びボート競技（女子舵手付クォドルプル）でインターハイへの出場を決めています。文化部でも箏曲部と美術部が全国総合文化祭へ出場します。この他、どの部も県総体や各種大会・発表会等に向けて熱心に活動しています。また、部活動を通して「チームワーク」や「自分たちでよりよい練習計画を立てること」など、成績や結果だけでなく多くのものを手に入れることができるはずです。

文武両道の取組③ 学校行事

佐沼高校は、学校行事の盛んな学校です。特に夏休み前後に行われる「球技大会」「陸上大会」「佐高祭（文化祭）」は「三大大行事」と呼ばれ、大きな盛り上がりを見せます。行事では、あたえられたものを受け身に楽しむだけでは、本当に楽しむことはできません。佐沼高校では、生徒会役員や実行委員の生徒を中心に、毎年「去年以上に盛り上がる、よい行事にしよう」と自分たちで考え、行動しています。そして、みんなが参加することでより「楽しめる、盛り上がる」行事になっているのです。

文武両道の取組④ 生徒のがんばりを支える環境

放課後の職員室前。廊下には机が並び、手元を明るくする照明もあります。多くの生徒が遅くまで自習しています。わからないところは、積極的に先生方に質問する姿も見られます。この、放課後の学習は佐沼高校の伝統ともいえるものです。先輩方の姿が後輩たちに引き継がれていきます。

佐沼高校には、登米市内を中心に、広範囲から生徒が通学しています。通学手段として大きな役割を果たしているものに市民バス（100円バス）があります。朝の通学時はもちろんのこと、部活動後の下校時（19時台）にも運行され、多くの生徒が利用しています。

→〈ホームページはこちら〉 <http://sanuma.myswan.ne.jp/>

□ 柴田高等学校

| 〈一緒に柴田高校で「夢実現」を目指しましょう。「来たれ！柴高へ」〉

〈学校の概要〉

特色ある高校教育推進への社会的要請に応えるため、生徒の能力・適性に対応する学習指導を強力に展開し、普通科の他に本県初の体育科を設けている。すぐれた徳性、高い徳性、強健な身体と強い意志を持ち、未来を開拓する創造力と実践力に富み、次代を担うことのできる有能な人物を育成することと、学力向上・競技力向上のための指導を強化している。

〈教育課程の特色〉

〈普通科〉

- ・普通教科の学力向上を通して進路希望を実現します。
- ・1年生では、学習習慣を確立し、基礎学力の向上を図ります。
- ・2年生では、基礎力を更に充実させるとともに社会、理科に選択を取り入れ、それぞれの得意分野を伸ばします。
- ・3年生では、文系・理系の2つに分かれ、きめ細かく進路達成を推進します。
- ・定員の30%以内を推薦入試で選抜します。

〈体育科〉

- ・体育系大学への進学をはじめ、公務員、民間などのスポーツ振興に関連した職業への従事者を育成します。
- ・スポーツで全国レベルの活躍ができる選手育成を目指します。
- ・県内トップクラスの施設・設備と経験豊富な指導者のもとで、充実した部活動が行われます。
- ・定員の60%以内を推薦入試で選抜します。

〈行事・生徒会活動・部活動〉

行事としては普通科・体育科共通のものとして、柴高祭・体育祭・芸術鑑賞会があります。普通科では2年次に修学旅行、体育科では1年次にスキー実習が行われます。

部活動では陸上競技、柔道、剣道、ウェイトリフティング、体操競技、水球・水泳は、創立以来、東北大会、全国大会へ出場し、入賞を果たしています。また、他の運動部でも県内上位の実績を誇り、全国大会出場を目指しています。さらに、本校では特色ある文化部も校内外問わず活躍しております。

〈本校の期待する生徒像〉

〈普通科〉

- ・普通教科の学力向上を通して、進路を達成したい生徒
- ・将来の進路について明確な目標を持ち、その実現に向けて努力する生徒
- ・生徒会活動・部活動等で意欲的に取り組んできた生徒

- ・生き生きとした規律ある学校生活を送りたい生徒
〈体育科〉
- ・体育系大学への進学をはじめ、公務員、民間などのスポーツ振興に関連した職業へ従事したい生徒
- ・学習と部活動の両立ができ、明確な進路目標の実現に向けて努力する生徒
- ・スポーツ活動で高い実績を保持している生徒
- ・スポーツで全国レベルの選手として活躍したい生徒

〈我が校のPRポイント〉

創立24年目を迎え、更なる発展へ向け、生徒・教員が一丸となって取り組んでいる学校です。全国で活躍している部活動が多く運動部加盟生徒も多数です。学習と部活動の両立を目指し、「感動・チャレンジ・夢実現」を合言葉に社会に貢献できる人材の育成を目指しています。仙台大学と高大接続事業を結んでおり、大学より専門的な講義を受講できます。幅広い視野と思考力を身に付けることができる環境が整っています。

→〈ホームページはこちら〉 <http://www.sibata.myswan.ne.jp/>

□ 利府高等学校

└ 〈学習・部活動等に努力を惜しまない生徒を応援する学校＝利府高校〉

利府高校は、文武両道を目指し、さわやかな挨拶、明るい活力ある校風づくりに励んでいます。昨年度の国公立大学合格者は10名を越え、多くの部活動がインターハイ等の全国大会に出場し活躍しました。では、学習・部活動等の説明を通して利府高校を紹介します。

1. 教育課程・学習内容

○全日制・単位制

普通科：男女共学1学年5クラス編成（200名）

スポーツ科学科：男女共学1学年2クラス編成（80名）

○普通科・スポーツ科学科ともに単位制を採用し多くの選択科目を開設しています。国公立大学進学を含め様々な進路希望に対応できる教育課程になっています。

○スポーツ科学科においては、全員が運動部に所属し、体育の専門科目を学びます。単に競技力の向上や全国大会を目指すのではなく、現在進む高齢社会で求められている新しい体育指導員（スポーツアドバイザー・スポーツカウンセラー）の育成も目標のひとつであり、スポーツ医学等の科目も開設しています。普通教科も充実しており体育系大学はもちろん、文系・理系の大学へも多くの生徒が進学しています。

○総合学習では、体験学習（上級学校訪問、職場体験）、小論文指導等で一年次から進路実現に向けた取り組みをしています。

2. 学校行事及び部活動

校内体育大会・利府高祭などの学校行事は、生徒会執行部を中心に運営されており、全生徒一丸となって取り組んでいます。部活動においては、指導者のもと生徒たちは熱心に活動し、すばらしい成績を収めています。中でも野球部が選抜の甲子園大会でベスト4進出を果たし、フェンシング部の全国選抜大会ベスト8、陸上競技部のインターハイ上位入賞・全国高校駅伝大会出場、サッカー部の全国高校サッカー選手権大会2年連続出場をはじめ、ハンドボール部、卓球部、水泳部、弓道部、ソフトボール部、テニス部が全国大会出場の経験があります。他にも剣道部、ソフトテニス部、バレーボール部、ラグビー部も東北大会の出場経験をもっています。また、文化部では吹奏楽部の全国大会への出場、美術部の全国高総文祭への出展、そして演劇部の県コンクールでの上位入賞など活躍しています。

3. 卒業生の進路

スポーツ科学科、普通科とも大学・短大への進学者が全体の3分の2にのぼり、大学進学率は年々上昇しています。

○主な進学先（過去3年間）

宮城教育大学、宮城大学、秋田大学、岩手大学、岩手県立大学、山形大学、茨城大学、東京芸術大学、都留文科大学、早稲田大学、中央大学、立教大学、日本大学、駒澤大学、神奈川大学、日本体育大学、日本女子体育大学、東京女子体育大学、東北学院大学、東北薬科大学、宮城学院女子大学、仙台白百合女子大学、仙台大学、東北文化学園大学、東北福祉大学、東北工業大学、尚絅学院大学 他

※志望する中学生へ

「文武」両面で自分の目標を明確に持ち、努力を惜しまない生徒一人ひとりを応援する学校、それが利府高校です。学習や部活動、生徒会活動などに一生懸命に取り組める人は誰でも歓迎します。

→<ホームページはこちら> <http://rifu-h.myswan.ne.jp>

□ 河南高等学校

| <河南高校は、平成22年4月より「石巻北高等学校・総合学科」になります>

Chance！ Challenge！ Change！

河南高校は、来年から校名を「石巻北高等学校」・学科名を「総合学科」として新たなスタートを切ります。

学習内容！

1年次は、240名の生徒が同じ教科を勉強します。教科の学習と併行して「自分の生き方や進学したい学校、将来就きたい職業について深く考えることができる科目」を1年間学習します。2～3年次は、進路目標（食に関する勉強をしたい・福祉に関する勉強をしたい・コンピュータに関する勉強をしたい・資格を取得したい・大学に進学したい など）に応じた科目を中心に学習します。

授業！

進路目標が比較的よく似た人たちの学習グループになるため、学習意欲も高くなりやる気が出てきます。グループ学習や個別学習が増えます。

資格取得！

授業をしっかりと理解し実力を付けていれば取得できる資格（漢検、英検・数検、簿記検定）と、放課後や休日に講習を受けて努力することによって取得できる資格（ワープロ検定、情報処理検定、珠算電卓検定、文書デザイン検定、HP作成検定、社会常識力検定、フォークリフト、玉掛け、アーク・ガス溶接、小型建設車輛機械、クレーン、締固機械、危険物取扱者、毒劇物取扱責任者、家庭科技術検定）があります。

（総合学科って）どんな学科ですか！

普通科でもない専門学科でもない第3の学科です。

（総合学科って）どんな生徒に向いていますか

①進学を希望し、学力を着実に高めたいと考えている生徒 ②就職を希望し、自分に合った職業を選びたいと考えている生徒 ③今は何になるか決まっておらず、高校に入ってから「産業社会と人間」の授業などで自己の適性と社会について学び、迷いなく進路を決めたいと考えている生徒に向いています。

（総合学科って）『系列』というのは何ですか

自分の夢を実現させるための科目選択のモデルプランで、総合学科独自のものです。大学に進学する、看護師になる、あるいは情報関係の就職をする等、そのために必要な科目の選択例を示したものが「系列」です。

（総合学科って）途中で、系列を変更することができるのでしょうか

変更できません。1年次の11月に選んだ系列で卒業まで勉強することになります。あとで別の系列にすればよかったということのないようよく考えて選ぶことが必要です。

（総合学科って）クラスはありますか

あります。2年生から進学系列だけは単独のクラスになりますが、他は系列ごとのクラス編成は行いません。ただ、2・3年次では選択科目が多くなるので、クラス単位で受ける授業は減り、系列ごとに受ける授業がふえます。

（総合学科って）「単位制」ということですが

総合学科では「単位制」を採用しており、特別の事情がある場合を除き、「年次の進行」はできます。「原級留置」はありません。ただし、3年次が終わった時点で卒業の条件を満たしていなければ、「4年次」としてさらに高校生活を送らないと卒業できません。

→（ホームページはこちら）<http://www.kanan-h.myswan.ne.jp/>

□ 白石高等学校

| <進学重視型単位制普通科と5年一貫教育看護科が併設された学校が、新校舎とともに来春スタート！>

白石高校と白石女子高校は来春統合し、普通科（単位制）6学級（定員240名男女）、看護科（学年制）1学級（定員40名男女）の男女共学の学校になります。現在の白石高校及び白石女子高校の生徒も同時に統合校の生徒になります。

統合校の校訓や校章、新しい校歌の歌詞もすでに決定しており、現在は新校歌の原曲を選考中です。統合校の詳細については、ホームページをご覧ください。

次に、統合校の特長を紹介します。

①平成22年度高校入試

推薦入試では、個人面接と作文を実施します。募集定員は、普通科が定員の30%以内、看護科が定員の40%以内です。

一般入試では、普通科で傾斜配点を実施することにしました。具体的には数学と英語の点数を1.5倍にして、判定材料のひとつとします。これは、

◎ 中学生のうちに自分から能動的に学習に取り組む姿勢を身につけてほしい。

◎ この2教科の基礎学力をきちんと身につけてきてほしい。

というメッセージです。看護科は、従来通り各教科とも100点満点となります。

②進学重視型単位制の普通科

普通科では、進学重視型の単位制を採用します。単位制は、自分の興味・関心、能力・適性や将来の進路希望に合わせて科目を選択して学習することができます。「個性を伸ばす」、「主体性や自立心を育てる」、「進路希望を実現しやすい」といった利点があります。またいろいろな科目の開講が可能であり、少人数授業・習熟度別授業など、これまで以上に生徒一人一人を大切にすきめ細かな指導もできます。このような教育課程を通じて、国公立大学を中心とした四年制大学進学を可能にするとともに、大学卒業後に社会の第一線で活躍できる人材を育てます。

③5年一貫教育の看護科

県内唯一の看護科は専攻科を有し、高校と専攻科の5年一貫教育により、専攻科を終了した段階で看護師国家試験の受験資格が得られます。これは現在、看護師資格取得の最短コースです。そのため1年次から看護に関する専門科目を設定し、看

護職に必要な理論と実践能力が習得できるよう教育課程が編成されています。ですから看護師資格を取得しようとする強い意志をもって入学することが大切です。ちなみに、昨年、一昨年と2年連続で、全卒業生が国家試験に合格しています。

④学習環境の整備，周囲の環境との調和を図った新校舎

新校舎は，最新の設備と学習に適した施設を有しています。大きく教室棟，看護科棟，管理棟に分かれており，1階部分には校舎間を貫くストリートが南北に走っています。また，進学重視型単位制カリキュラムに対応する14もの講義室（1部屋は冷暖房完備）を有し，自学や質問に対応した学習スペースを確保して学習環境の充実を図っています。さらに看護教育のための施設設備を充実させ，看護師国家試験全員合格を目指しています。

現在，新校舎の工事は着々と進み，22年2月中には完成する予定です。

⑤スクールジャケット

新白石高校では，制服は定めません。基本的には私服で学校生活を送ることができますが，公式の行事の際には「スクールジャケット」の着用を推奨します。社会生活上のマナー意識を高める意味でも，スクールジャケットを採用することで，公式の行事に参加することの意義，心構えを学んでもらおうと考えています。

実際のジャケットがどんなものかは，ホームページをご覧ください。また，9月12日の公立高校合同相談会（ホワイトキューブ会場）で，実物をご覧いただけます。

⑥生徒会行事・部活動

新白石高校では，統合前の白石高校と白石女子高校の伝統ある行事の「定期戦」，「体育祭」，「合唱祭」，「文化祭」を実施する予定です。また部活動については，現在両校で活発に活動している部については継続する予定です。活動場所としては，新校舎のほかにも，現在の白石高校・白石女子高校の施設の活用を予定しており，必要な施設・設備やグラウンドを十分に確保します。

⑦交通アクセス

新校舎はJR白石駅からは徒歩で15分程度のところにあり，仙台駅発7:25，角田駅発7:30，山下駅発7:23でも始業に間に合います。仙台市内や角田方面，亘理・山元方面からでも意外と便利に，そして安心して通学できます。

→<ホームページはこちら> <http://www.hakko.myswan.ne.jp/>

□ 田尻さくら高等学校

| <居心地No.1高校 ここではあなたは飛躍できる>

1 はじめに

本校は，平成20年4月に二部制昼夜間開講型単位制高校として県北部に開校された現在最も新しい県立高校です。

「自律・進取・誠実」を校訓に，生徒が自由な中でのびのびと高校生活を送り，自分を見つけて磨き，社会や上級学校に飛躍していくことを願って創立されました。

2 田尻さくら高等学校の教育システム

(1) 校風

本校には，ホームルームがありません。制服も自由で，時間割も自分の興味・関心，進路に応じて自分でつくります。社会のルールが本校のルールです。こうした

自由な雰囲気の中で、生徒たちは自分の夢に向かって学ぼうとしています。本校は自分で考え、自分で行動する「大人の学校」です。

(2) 本校のしくみ

イ I部(8:15~15:15, 定員80名), II部(13:15~19:05, 定員40名)があります。

ロ 必修科目を含め、74単位以上を修得することで卒業できます。

ハ 本校には学年区分がありません。

ニ 5, 6校時の併修の授業を受けることで、1日6時間の授業を受講することになり、3年間での卒業を基本としています。

(3) 本校の教育内容

イ 生徒の興味・関心や進路希望等に応じた魅力的な科目群があります。

①国公立4年制大学進学に向けた科目群

②様々な資格取得が可能な情報や商業の科目群

③ホームヘルパー2級の資格取得が可能な福祉の科目群

④茶道・グリーンライフ(農業)・陶芸など体験型の科目群

ロ 自分の興味・関心, 進路に応じて, 多様な科目群から, 自分で選択科目を選び, 自分だけの時間割をつくります。

ハ 少人数指導で基礎・基本を重視し, 学力の定着をはかれるよう工夫しています。

ニ 俳優やNPO代表など多様な職種の中から高校支援員(サポーター)が, 田尻文化講演会などの行事やキャリアガイダンスに参加しています。

3 これまでの主な取組~地域との交流を中心に~

(1) 田尻文化講演会・スポーツ講演会

本校は, 地域の生涯学習の核としての役割を果たすため, 生徒と地域の方が共に学ぶ機会として, 定期的に講演会を開催しています。

○藤沢智子(TBCアナウンサー)講演会「教育っていずい?」

○高山広(俳優)ひとり芝居「青春を生きる」

○移動山形国際ドキュメンタリー映画祭「ヤシの木の下で」

○車椅子バスケット日本一 宮城MAX岩佐監督講演&ゲーム

○仙台89ERS選手 志村選手講演&ミニゲーム

(2) 本校の目玉「地域交流ギャラリー」での作品展開催

昇降口を歩いて目の前に2階吹き抜けのオープンスペースがあります。ここを地域交流ギャラリーと呼び, 月ごとに展示計画を立てて, 本校生の作品, 地域の方々の作品を展示しています。展示案内は, 「地域交流ギャラリー通信」として生徒, 保護者ばかりでなく, 地域のすべての家庭に毎月4000部配付しています。展示作品を見学するため, 月に300名以上の方が訪れ, 生徒たちと交流しています。

(3) 社会人の方と共に学ぶ(科目履修生)

本校では, 社会人の方と共に学ぶことで本校生の学習意欲を高めています。今年度は, 「情報と表現(パソコン)」に4名, 「グリーンライフ(農業)」に2名, 「書道」に3名, 合計9名(44歳~74歳)の方々が, 生徒たちと一緒に真剣に学習しています。この学ぶ姿勢は, 学校全体に良い影響を与えています。

(4) 講師陣は全国各地から

多様な学びには, 多様な講師陣が欠かせません。本校の講師陣は, 北は北海道出身者から南は沖縄まで様々な方が集まっています。また, 海外青年協力隊員として海外で活躍した方など, 年齢も23歳から78歳までバラエティに富んでいます。魅力ある授業を支えるのは魅力ある講師陣がいるからです。

4 今後の取組

(1) 教育課程の充実

単位制高校にとって命とも言うべきカリキュラムの多様性を確保するため、各教科の科目を充実させるとともに「茶道」や「グリーンライフ」、「書道」といった体験的な科目を設定していますが、これらに加え、来年度は「基礎数理」「ビジネスマナー」「陶芸」「ハングル」「田尻の環境」といった科目を開設する予定です。さらに、「中国語」や「染色」など地域の指導者を活用した科目の設定も検討し、学ぶ楽しさを味わうことのできる、多様な科目の充実を図っていきます。

(2) 地域に愛される高校を目指して

田尻高等学校は今年度で閉校になりますが、地域の高校として地域の人たちに愛されてきました。田尻高等学校の地域とともに歩む高校としての伝統は、田尻さくら高等学校にしっかりと受け継いでいきたいと考えています。開校以来の田尻さくら高等学校の取組は、地域との交流を大切にし、地域との相互理解を図ってきました。今後も地域交流ギャラリーを利用した情報発信や授業や行事、施設を積極的に地域に開放すること、地域の活動に多くの教師、生徒が参加することなどを通して、地域とともに歩む、地域に愛される高校としての地位を確立していきます。

→<ホームページはこちら>

<http://www.tajiri-hs.myswan.ne.jp/indexsakura.html>

■ 4 コラム ■

高等学校の校長先生、一般の先生、生徒代表などが、「我が校」に対する想い、最近の話題などについて語ります。その高校の新しい魅力が発見できるコーナーです。

□ 仙台向山高等学校

| <新旧生徒会長が仙台向山高校を紹介します>

| 生徒会長 石山 葉月 前生徒会長 鈴木 萌

みなさんこんにちは。仙台向山高校で生徒会長を務めています2年生の石山葉月です。

さて、みなさんは仙台向山高校のことをご存知でしょうか？本校は仙台駅からバスで約20分の小高い山の上にあります。多くの緑に囲まれてとても自然が豊かな場所です。

本校は制服がない私服の学校です。そのためもあり、とても自由で伸びやかな雰囲気があります。本校のいちばんの特徴はなんといっても、生徒が主体となって様々な学校行事が行われているということです。生徒会や各委員会が中心になって企画・運営がなされ、各行事がとても盛り上がります。ほかの学校でも生徒主体で…というところは多いと思いますが、本校ほど生徒が自主的に多くのことを作りあげている学校は少ないと思います。生徒会入会式、中庭コンサート、体育祭、向陵祭という名の文化祭、強歩大会などなど忙しい日々の中にも盛り上がるイベントが盛り沢山です。その中でも私のお気に入りの行事は春と秋の年2回行われる中庭コンサートです。このコンサートは生徒会執行部により企画され、その名の通りお昼休みの中庭でバンド演奏やダンスパフォーマンスなどを楽しむことができます。多くの生徒が昼食持参で中庭まで出てきて、いつもは静かな中庭がライブ会場のように盛り上がります！他の学校にはあまりない珍しい行事です。また、「自由な校風で生徒が主体」ということ以外に本校の特徴をあげるならば

、もうひとつは学校全体の仲の良さだと思います。男女仲も先輩と後輩も先生と生徒もみんなが家族のようにとっても仲良しです。体育祭や向陵祭ともなれば学校全体が1つになって大変盛り上がります。このようなところに共学校ならではの楽しさが溢れています。

私が本校に入学して約1年半が経ちましたが、本校での生活はとっても楽しいです。毎日が充実していて心から本校に入学してよかったなと思っています。私にとって仙南向山高校は居心地がよく仲間と切磋琢磨し、成長し合える場所です。多くの人が自分の将来を見据え、目標に向かってがんばっているので毎日たくさんの刺激を受けています。

こんな素敵な仙南向山高校で、みなさんも充実した高校生活を送ってみませんか？きっと自分の将来につながる大切なものや、かけがえのないものが得られるはずですよ。

生徒会長 石山葉月

中学生のみなさんこんにちは！ 向山高校3年の鈴木萌です。ちなみに私は理数科です。向山高校の生徒は「向陵生（こうりょうせい）」と呼ばれているのですが、ここでは向陵生から見た向山高校について紹介したいと思います。向山高校は先輩・後輩、男女の仲が非常に良く、大きなひとつの家族のような学校です（男女比はほぼ1対1です）。自由でのびのびとした雰囲気の中で、一人ひとりが自分の行動に責任を持ちながら楽しい高校生活を送っています。向陵生には平和主義者が多いように思えます。それから、何事にも努力を惜しまない人も多いような気がします。制服のない学校なので何を着ていくか考えるのが大変そうなイメージをもたれるかもしれませんが、実際はジーパンにTシャツとか、ワンピースにパーカーとか高校生らしいラフな格好の人も多いのでご安心を！（もちろんオシャレさんもたくさんいますよ。）

学科は普通科4クラスと理数科1クラスに分かれています。理数科は野外巡検や課題研究（すごく勉強になります！）などの行事があること、数学・理科の授業が多いことなどが特徴です。普通科は2年次から文系と理系のクラスに分かれます。普通科と理数科の2つの科に分かれてはいますが、教室は同じ階にあり部活動や学校行事も一緒に行うのでクラス関係なくみんな仲良しです。

ここで、「数学が苦手だから理数科はムリ！！」とか「自分の今の学力じゃ向山には入れない」という人たちにアドバイス☆

私も理数科ですが決して数学が得意なわけではありません（むしろ苦手です）。ですが、将来理系の仕事がしたかったため苦手な数学を克服しようという気持ちで入りました。理数科の友達にもそういう考えで入った人が何人かいたようです。課題研究では「カビ」についての研究を行いました。毎日放課後に白衣を着て研究を行うのはまるで科学者になったような気分ですよ！理数系が得意な人だけでなく、苦手な数学・理科を克服したい人、将来理系の職業を考えている人にもおすすめの学科です。向陵生は努力型の人が多いです。聞いてみると「中学生のとき模試の判定は悪かったけど、どうしても向山に入りたかったから勉強した」とか「何で自分が向山に入れたのかいまだに分からない」というひとも結構います。（笑）要は気合だ！ってことです☆努力しただけで道はいくらでも開かれるんです。参考になったでしょうか…？

前生徒会長 鈴木萌

→ <ホームページはこちら> <http://www.mukaiyama.myswan.ne.jp/>

■ 5 お知らせ ■

◆公立高校ガイド（入試情報）について

平成22年度春の高校入試関係情報を含む各高校の特色をまとめた「平成22年度公立高校ガイド（入試情報）」を各高校のホームページに掲載しましたのでご活用下さい。

公立高校ガイドは、高校教育課のホームページともリンクしています。

《方法》 「宮城県教育庁高校教育課」 検索



「宮城県／教育庁高校教育課」をクリック

[アドレス] <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/>



「公立高校ホームページ」をクリック



「見たい学校」をクリック … 各学校のHPのトップページへ



「公立高校ガイド（入試情報）」をクリック

◆公立高校ガイドブックについて

「公立高校ガイドブック」については、高校教育課のホームページに掲載しております。みなさんの進路選択の 一つの資料として役立てて下さい。

《方法》 「宮城県教育庁高校教育課」 検索



「宮城県／教育庁高校教育課」をクリック

[アドレス] <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/>



「平成21年度 宮城の公立高校ガイドブック」をクリック

◆オープンキャンパス（学校説明会）について

「オープンキャンパス（学校説明会）」は、各高校等を会場に、学校の特色の説明や、授業・部活動の体験・見学など、各学校がそれぞれ工夫をこらした魅力ある説明会・見学会です。

9月以降にも開催を予定しているいくつかの学校があります。各学校の開催日時や参加対象者等について、高校教育課のホームページに掲載していますので、御覧ください。

《方法》 「宮城県教育庁高校教育課」 検索



「宮城県／教育庁高校教育課」をクリック

[アドレス] <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/>



「オープンキャンパス&文化祭」をクリック

■ 6 編集後記 ■

今年度になって3号目の「高校教育課 情報メール」第12号をお届けします。今回は、最後に実施予定の合同相談会の案内とあわせて、県内の高等学校の特色ある取組も紹介しています。ご覧ください。

今後も県立高校に関するさまざまな情報をお知らせしますので「高校教育課情報メール」をよろしくお願ひします！

高校教育課 情報メール（メールマガジン）

○発行：宮城県教育庁高校教育課 〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目 8-1
TEL：022-211-3624 / FAX：022-211-3696
